

甲九番問 執達吏規則第十二條ニハ「正當ノ理由アリテ其職務ヲ行フコトヲ得サルトキ」又ハ之ヲ委任スルコトヲ得サルトキノ質問ニ對シ第十一條ノ一號ヨリ四號マテニアル者ハ委任スルコトカ出來ル資格アル者ナリ其者ニ裁判所ヨリ委任セヨトアル其時ニ執達吏カ其者ニ信用ヲ置カスシテ委任スルコト能ハサル者モアラント考ヘマスカ其場合ニ當リ第十一條ノ一號ヨリ四號マテノ者カアツテモ其者ハ危險デアルト自己ノ考ヘテ以テ委任チセストモ宜シキカ

答 然リ

甲十八番問 執達吏規則第十三條ノ執達吏カ其職務ヲ行フコトヲ得サルトキハ前條則チ第十二條ニ依テ執達吏ハ他ニ委任スル者カナイト云フ場合ニ區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事ニ申出ヨト云フニ因リ其申出ニ因テ區裁判所判事若クハ監督判事ハ第十一條ニ掲クル一號ヨリ四號

マテノ者ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルトアリ又或ル場合ニハ裁判所書記ニ執達吏ノ事務ヲ行ハシムルコトアリト此二者ノ中何ヲ探ルカナレハ第十一條ニ掲クルモノヲ探ルト云フ法律ノ精神ナルカ

答 其邊ハ區裁判所判事ノ職權内ナレハ其判事ノ意見ニ任スヘキモノナリ

第五 民事々件ニ關スル送達

第五ノ民事々件ニ關スル送達ノ事ヲ御話致シマス送達ニハ刑事々件ニ關スル送達モアリ其他非訟事件等ニ關スル送達アレトモ刑事々件ニ關スル送達ヲ初メトシ他ノ送達ハ民事々件ノ送達ニ關スル規定ニ從フ可キ方法ナルカ故民事々件ニ關スル送達ノ事ヲ十分御話シ申セハ其他ハ自カラ御了解ニナラント考ヘマス是ヲ以テ民事々件ニ關スル送達ヲ特ニ詳細ニ御話シ致サウト存マ

抑モ此送達ナルモノハ從來使丁カ民刑共ニ取扱ヒ來リタレトモ

元來送達ハ重要ノ行爲ナルカ故實ハ使丁ノ如キ者ニ取扱ハス可  
キモノニ非ス其理由ハ例ヘハ訴狀ノ送達ニ依テ訴訟物ノ權利拘  
束ヲ生ス則チ民事訴訟法第九十五條等ノ効力ヲ生スルモノナ  
リ又第二ニハ此送達ニ因テ期間ノ計算ヲ起スモノナリ例ヘハ判  
決ノ送達ニ因テ控訴若クハ上告ノ期間ノ初メトナリ其一二ノ例  
ヲ舉クレハ民事訴訟法第四百條第一項又ハ第四百三十七條ノ第  
一項其他再審ノ訴ニモ此ノ如キ場合アリ第三ニハ呼出狀ヲ適式  
ノ方法ニ依テ受ケタルヤ否ヤニ依リ欠席シタル者ナルヤ否ヤト  
云フ問題ヲ生ス則チ民事訴訟法第二百四十六條以下ニ於テ適式  
ノ呼出ヲ受ケテ出頭セサル場合ニ於テハ欠席判決ヲ受クル結果  
ヲ生セン斯ノ如ク其呼出ヲ適式ノ送達ニ依リ之ヲ受ケシヤ否ヤ  
ヲ調ルニハ則チ民事訴訟法第二百五十四條第一項ニ定ムルカ如  
ク欠席判決ノ申立アルモ合式ノ呼出ヲ受ケタルニ非サレハ欠席  
シタル者ト看做スコトヲ得サルカ故實ニ此送達ハ能ク注意ヲシ  
テ成ル可ク速ニ爲サ、ル可ラサル性質ノモノナリ夫レ此ノ如ク

重要ナルモノナルヲ以テ相當ノ官吏カ公吏ヲシテ之ヲ取扱ハシ  
メサルヲ得ス是執達吏ヲ設ケラレシ所以ナリ

元來送達ニ付テハ各國ニ於テ其主義トスル所二種アリ

一 直接送達

二 間接送達即チ裁判所書記ノ手ヲ經ル送達

右ノ如ク送達ノ主義ニ二種ノ別アリテ一ハ直接送達一ハ間接送  
達トモ謂ヒ又ハ裁判所書記ノ手ヲ經ル送達トモ謂ヒ若クハ裁判  
所書記ノ媒介ニ依ル送達トモ謂フ而シテ歐米各國ハ九分マテハ  
此直接送達ノ主義ヲ採レリ直接送達ノ行ハレル位ノ國ハ概チ代  
言人訴訟カ若クハ代言人訴訟ノ行ハレル所ニシテ本人自カラ訴  
訟ヲ爲スコトヲ得サルモノト規定シテアル國ニ多カル可シ第二  
ノ裁判所書記ノ手ヲ經ル送達ハ本人訴訟ノ行ハル、所ニ此主義  
最モ多シ而シテ本人訴訟トハ本人カ自ラ訴訟ヲ爲スコトヲ得ル  
モノニシテ代言人ニ依頼スルト否トハ當事者ノ勝手ナリトス我  
國ノ訴訟法ハ如何ナル制度カト云フニ舊來代言人ヲ依頼セサレ

ハ訴訟ヲ爲スコトヲ得スト云フ習慣モナク則チ隨意ナリシ故ニ  
今俄ニ英佛獨等ノ風ニ倣テ代言人若クハ代書人ヲ頼マザルヲ得  
ザルト云フカ如キ義務ヲ付ケルコトハ我國ニハ適當ナラスト立  
法者カ認メ本人自カラ訴訟ヲ爲スヲ本則トス若シ本人自ラ訴訟  
ヲ爲シ得ザルトキハ辯護士ヲ以テ之ヲ爲スヲ原則トスルコトヲ  
民事訴訟法第六十三條ニ定メタルモノナリ故ニ我國ノ民事訴訟  
法ハ舊來ノ習慣ヲ改メスシテ本人訴訟ノ體ニ定メタリ扱本人訴  
訟ノ制度ヲ採リマシタトスレバ其本人ハ代書人又ハ辯護士ノ如  
ク訴訟ヲ爲ス手續ニ熟シテ居ルニ限ラス概シテ誤リ勝チナルヲ  
以テ裁判所書記ノ手ヲ經テ爲ス送達ノ主義ヲ採ラレ則チ民事訴  
訟法第三百三十六條第一項ニ於テ其裁判所書記カ之ヲ爲スト云フ  
原則ヲ掲ケラレタノデアリマス然ラバ當事者カ相手方ニ送達ス  
可キ書類ハ如何ナル手續ヲ以テスルカト申セハ民事訴訟法第百  
八條ニ定メアル如ク一切送達ス可キ書類ハ裁判所書記課ニ差出  
ス可キ者ト定メテアリマス故同法第三百三十六條第一項ノ原則ニ

依リ且同條以下ノ手續ニ依テ送達ヲ取計フ可キモノトナシマス  
此間接送達ノ主義ヲ採リタルハ要スルニ舊來ノ習慣ニ基キタル  
ト此訴訟法ノ本人訴訟法ノ制度ト適合スルニ依リ此書記ニ依ル  
送達ヲ採ラレタルモノト言ハサルヲ得ス

是レヨリ職務細則第二章第一節第一款即チ送達ノ通則ニ付キ御  
話シ申シマス此通則ハ民事ノミナラス一般ノ規定ナリ然レトモ  
他ノ送達ハ皆民事ノ送達ニ依ルモノナルカ故民事ニ付テ重ニ述  
ヘマセウ

民事訴訟法ノ規定ニ依レハ送達ノ方法ニ四種ノ別カアリマス

- 一 執達吏ニ依ル送達
- 二 郵便ニ依ル送達
- 三 郵便ニ付スル送達
- 四 公示送達

扱送達ノ方法ハ右ノ四種ニアリマス此中第一第二ハ普通ノ送達  
ニシテ此法律ノ精神ニ依レハ裁判所書記ハ職權ヲ以テ第一ノ執

達吏ニ依ル送達ニスルモ又ハ第二ノ郵便ニ依ル送達ニスルモ其  
 場合ニ依テ何レカ賃錢少クシテ送達ヲ爲シ得ヘキカヲ見計ヒ何  
 レカ國家ノ經濟的ニ依ル可キモノトス是即チ民事訴訟法ノ第百  
 三十六條ノ第二項第三項ニ定ムル所ナリ書記ノ御方ハ善ク御注  
 意ナサレタシ又第二ノ郵便ニ依ル送達ハ即チ民事訴訟法第百三  
 十六條ノ末項ニアル如ク郵便配達人カ送達吏ト云フ名義ヲ以テ  
 同法第百五十一條以下ノ規定ニ於テ送達證書ヲ作ラサルヲ得ス  
 然レモ今日ノ郵便規則ニ於テハ郵便配達人カ民事訴訟ノ送達ヲ  
 爲ス規則ノ設ケアラサル故當分郵便規則ノ改正アルマテハ民事  
 訴訟法第百三十六條第三項ハ實施スルコトヲ得ス要スルニ一般  
 通常ノ送達ハ第一ノ執達吏ニ依ル送達ノミヲ施行ス可キモノト  
 御承知ニ相成タシ而シテ第三ノ送達ト第四ノ送達ハ是ハ常ニア  
 ル可キコトニアラス則チ例外ノ手續デアリマス第三ノ郵便ニ付  
 スル送達ハ民事訴訟法第百四十三條ノ規定ニ於テ當事者カ受訴  
 裁判所ノ所在地ニ住居セス且事務所ヲモアラサルトキハ假住所

ヲ撰ヒ其届書ヲ裁判所ニ出サ、ルヲ得ス其届書ヲ出サ、ルトキ  
 ハ止ムヲ得ス住所ヘ宛テ普通ノ郵便ニ投シテ送達スル手續キナ  
 リ此郵便ニ付スル送達ハ重モニ書記ニ關係スルモノナレトモ若  
 シ執達吏カ委任ヲ受ケタル後送達ヲ爲スニ當リ當事者カ右假住  
 所ヲ轉シテ其轉居届ヲ出サ、ルトキハ執達吏モ亦此手續キヲ爲  
 スコトヲ得ルモノトシマス此郵便ニ付スルト郵便ニ依ルトハ大  
 ニ區別アル故混淆セサルコトヲ要シマス  
 第四ノ公示送達ハ民事訴訟法第百五十六條乃至第百五十八條ニ  
 規定スル所ニ係リ原告若クハ被告ノ所在地ノ不分明ナルカ又ハ  
 外國ニ在テ其外國ニ送達スルモ到底其住所ノ不分明ナルカ如キ  
 場合或ハ領事ノ設ケモナク送達スルモ届クコトヲ豫知スルコト  
 能ハサル場合ニハ公ケニ告示ヲ以テ送達スルモノトス此送達ハ  
 民事訴訟法第百五十七條ニ明文アル如ク裁判所書記ノ職權ヲ以  
 テ此揭示ヲ致シマス例ヘハ其揭示ヲ爲サシムルニハ廷丁ヲシテ  
 揭示セシムルトカ又ハ書記カ自ラ揭示スルトカ云フ如キ手續キ

テアリマス此執達吏ノ職務ニ非ラサルモ送達中ノ一種ナル故序  
ニ御話シ申シテ置キマス  
是レヨリ職務細則ノ第十八條ニ付キ御話シ申シマス  
第十八條ニ定アル者ハ民事訴訟法第三百三十七條及第三百五十一  
條等ノ規定ニ基キシ者故同法ニ付キ御話センニ此送達ハ送達ス  
可キ書類ノ正本ヲ以テ送達ス可キ場合ト又ハ認證シタル謄本ヲ  
以テ送達スヘキ場合ト又認證ノナキ謄本ヲ以テ送達ス可キ場  
合トアリテ其場合々々ヲ善ク辨ヘテ正本ヲ以テ送達スルハ正  
本ニ非ラサレハ其効ナシ如何ナル場合ニ於テ正本ヲ以テ送達ス  
ヘキ規定アルカト申セハ民事訴訟法ニ於テハ第六十一條第二  
百三十八條第四百八條第四百四十四條第四百七十三條及第七百  
九十九條等ニ定メアリ又認證シタル謄本ヲ以テ送達ス可キ規定  
ハ第三百五十條ニ定メアリ其他ノ場合ハ總テ認證ノナキ謄本ヲ以  
テ送達ス可キ者トシマス而シテ當事者則チ原告カ數人アリテ代  
理人一人ヲ命シアルハ若クハ被告カ數人アリテ代理人一人ヲ命

シタル場合ニハ其代理人ニ謄本ニテモ正本ニテモ一通ヲ送達ス  
ルヲ以テ足レリト又同一ノ原告カ數人ノ代理人ヲ任シアルカ  
若クハ同一ノ被告カ數人ノ代理人ヲ任シアル場合ニハ其數人ノ  
代理中ノ一人ニ謄本ニテモ正本ニテモ一通ヲ送達スルヲ以テ足  
レリト又總テ送達ヲ爲ストキハ民事訴訟法第五百一十一條ノ規定  
ニ依テ送達ヲ爲シタル所ニ於テ送達證書ヲ作ラサル可ラス  
從前ノ手續ハ判決ヲ言渡ストキハ原被告ノ求ムルト否トニ拘ハ  
ラス判決書ヲ下附シテ請書ヲ取り來リシモノ此民事訴訟法ノ手  
續キニ依レハ其言渡シテ爲スモ當事者ヨリ判決書送達ノ求メナ  
ケレハ之ヲ下附セス其求メアレハ適式ノ正本ヲ作テ當事者雙方  
ニ送達致シマス即チ民事訴訟法第二百三十八條ノ申立アリタル  
ハ其申立ニ依テ送達スルモノトス此場合ニハ書記ハ即チ書式  
ヲ御廻シ申シテアル通りノ正本ヲ作り其正本ノ末ニ署名捺印シ  
且ツ裁判所ノ印ヲ捺印シ而シテ送達狀ニ判決正本一通ト記入シ  
此判決ノ正本及送達狀ヲ共ニ執達吏ノ書函ニ入レ置ク可キ者ト

ス尤モ二人以上ノ執達吏ノ設ケアルトキハ其受持ノ區域内ニ送達スル執達吏ノ書函中へ入レ置ク可シ然ルトキハ書記ハ口頭ヲ以テ委任ヲ爲シタルモノト看做ス而シテ執達吏ハ一日ニ一度若クハ二度定時ニ書函ヨリ書類ヲ出スト云フカ如キコトニ定メ置キ之ヲ受取レハ其名宛ノ本人則チ送達受取人ニ渡シ署名捺印ヲ爲サシメ若シ之ヲ拒ミタルトキハ其拒ミタル理由ヲ記シ而シテ送達ノ年月日時并ニ送達ノ場所ヲ記入シ若シ受取人本人ニ非スシテ親族ナレハ親族雇人ナレハ雇人ト其受取人ヲ書キ入レ執達吏之ニ署名捺印スル者トシマスハ勿論表裏トモ同様ニ筆記シテ之ヲ二葉ニ切りテ一通ハ送達シタル書類ト共ニ受取人ニ渡シ一通ハ書記へ戻ス可スキ者トシマス之レ則チ民事訴訟法第五百十一條ノ規定ニ於ケル受取證テアリマス此受取證ハ此一通ノミニメ之ニ付テハ執達吏ノ方ニ原本カ殘ルト云フ者テハアラサルモ此ノ如キ書式ヲ以テスル者ハ總テ職務簿ニ記入シタル者ヲ原本ト看做シ書式ニ記入シタル者ハ之ヲ書記ニ交付セサル可カラス

第十九條ニ移リマスカ送達ヲ爲ス可キ書類中ニハ呼出狀モアリ判決書モアリ種々ノ書面アレトモ其書面ノ輕重等ヲ取捨セス同一ニ之ヲ送達ス可キモノトス

第二款民事々件ニ關スル送達ニ就テ御話シ致シマス此民事々件ニ關スル規定ハ刑事々件ニ關スル送達ヲ始メ其他ノ送達モ總テ之ニ倣フ可キモノナル故其積リテ此民事々件ニ關スル送達ヲ十分ニ御研究アラシムコトヲ企望致シマス

第二十條ハ唯々執達吏ハ民事訴訟法ノ送達ノ節ニ依リ民事事件ノ送達ヲ取扱フ可シト云フ原則ヲ定メタルニ過キマセシ

第二十一條ニ移リテ御話シ申シマスカ送達ノ委任ハ元來何レノ者ヨリ之ヲ爲スカト云フニ民事訴訟法第三百三十六條第一項ノ規定ニ依レハ書記カ職權ヲ以テ爲スモノ、如ク見ユレトモ右規定ニ書記カ職權ヲ以テ之ヲ爲サシムトアルハ書記カ當事者間ニ在テ委任ノ媒介ヲ爲スノ謂ニシテ其實ハ原告若クハ被告又ハ其訴訟代理人ヨリ之ヲ爲スモノナリ然レトモ前ニ申ス如ク直接ノ送

達ノ主義ヲ取ラザリシ故裁判所書記ヲ經テ送達ヲ爲スコトヲ通例ト致シマス而シテ各當事者カ書記ヲ經ルニハ如何ナル手續ヲ爲スカト云フニ即チ民事訴訟法第百八條ノ規定ニ依リ送達ス可キ書類ヲ書記課ニ差出シ書記ハ同第百三十六條第一項ノ規定ニ從ヒテ之ヲ媒介スルト云フコトヲ本條ニ定メタル者ナリ

茲ニ書記ヲ經テ之ヲ爲ス通例トストアル通例ナル語ヲ用非タルトキハ何レ其變例ノ場合アル意義ナリ然ラハ書記ヲ經サル送達則チ變例ノ場合ハ何レニアルカト云フニ同ク民事々件上ヨリ起リシ事件ニテモ彼ノ強制執行ノ場合ニハ書記ヲ經スシテ直ニ執達吏ニ委任ヲ爲スコトヲ得ル故隨テ送達モ書記ヲ經スシテ執達吏ガ直チニ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス果シテ然ラハ民事訴訟法第百三十六條ノ第一項ノ原則ニ觸レルト云フ問題ヲ起スモノナキニシモ非ラサレトモ抑同第百三十六條ノ第一項ノ規定ハ訴訟中ニ在テ裁判所ニ差出シタル書類ヲ當事者ニ送達シ又ハ呼出等ニ係ル送達ヲ爲ス場合ヲ定メタル精神テアリマス故訴訟中

ニアラスシテ當事者ヨリ直チニ執達吏ニ委任シタル事件ニ付テハ例外ニシテ送達モ書記ヲ經スシテ之ヲ爲スヲ得ルモノトシマス而シテ第二項ニ裁判所書記ヲ經テ委任ヲ受ケタル執達吏ハ其事件ニ關シテハ直接ニ原告若クハ被告ヨリ委任ヲ受ケタルモノト看做ストアルハ書記ハ唯々職權ヲ以テ其中間ニ立テ媒介ヲ爲スニ過キサル故則チ本人ヨリ直チニ委任ヲ受ケタルモノト看做シ就中手数料ニ關シテハ直接ニ本人ヨリ委任ヲ受ケタルモノトシ其本人ヨリ手数料ノ豫納ヲモ爲サシムルコトヲ得ルモノトシマス(執達吏手数料規則第十九條參照)

茲ニ手数料トアルハ廣キ意味ニシテ此手数料中ニハ立替金ヲモ包含ス何故ナレハ執達吏手数料規則ト題目ヲ掲ケアリテ其規則中ニハ立替金ノコトヲモ定メアレハナリ而シテ之ハ如何ナル手續ニテ請求スルカト云ヘハ直チニ委任シタル本人ニ對シ請求スルコトヲ得ルモノトシ便宜上本人ヨリ豫納セシメテ置クモ可ナリ若シ本人ニ豫納ヲ爲サシメサル場合ニ於テ本人カ手数料及立

替金ヲ支拂ハサルトキハ民事訴訟法第二十一條ニ定メタル裁判所ニ起訴スルコトヲ得ルモノデアリマス  
(以下次卷)

現行執達吏法令大全第二卷(終)

明治三十一年四月三十日印刷

明治三十一年五月九日發行

編纂者 和久利銀次郎

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字上  
別府鳳鳴會寄留島根縣平民

發行者 和久利銀次郎

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字上  
別府鳳鳴會寄留

發行所 鳳鳴會

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字上  
別府小字廣島

印刷者 野井唯吉

宮崎縣宮崎郡宮崎町大字上  
野町百三十四番戶



